

マイ 米 み は ら っ せ

【特集】

三原と世羅の お米のめぐみを 食べある記



あなたも
わたしも
マイマイミー



世羅 久井・大和など米どころが多い「みはらっせ」。なぜならば、気候や風土、日射時間の長さなど、お米がおいしく育つ条件がそろっているからだ。ふつくら炊きたてご飯がおいしいのはもちろん、みはらっせでは、米が粉になって麺・パン・ケーキと変貌を遂げるからスゴイ。おotto、お酒も忘れちゃいけない！米農家さんに感謝しながら、さあ、マイみはらっせを求め、いざ行かん！

世羅町の夢高原市場では、ほっかほっかご飯と井上店長さんの笑顔が嬉しい「幸せの卵かけごはん」が食べられる。

みはらっせの コレナダニ その③



「コレナダニ」はみはらっせエリアで発見した、読者のみなさんの「これ何だ？」に編集室がお応えしていくコーナーです。



おしりメロン

佐木島の特産、アリスメロンのツインズ(双子)。地元では双子メロンは珍しくないそうだが、ここまで美しいカタチは久々だとか。残念ながらアリスメロンの出荷は6月中旬で終了。次はローランメロンの出番だ。



実際に切るとこんなカタチ。あたり前ですけど中身はメロンでした。糖度が高く、甘くてとろけるおいしさはアリスメロンならでは。ごちそうさまでした。

Q 佐木島を取材中に不思議なカタチをしたメロンをメロンづくり名人のHさんからいただきました。地元では双子メロンと呼ばれています。どうみてもおしりに見えます。私が勝手に「おしりメロン」と名付けたのですが、編集長いいでしょうか？(編集室・島あきM子)

A はい、キミの決断は正しい！「おしりメロン」…これで決まりです。素晴らしいネーミングがありがとう！パチパチパチ…。うーむ、しかし、見れば見るほどおしりに似ていきますなあ。実際、ここ数年いや十数年、こんな美しいおしりを見たことがありません。ほれほれするような見事なおしりです。まさに「美人のおしり」。いっそのこと「美人のおしりメロン」でもええかもしません。(おーっと編集長それはやりすぎです…M子。ただ、これはアリスメロンだからいいんでしょうなあ。例のギザギザ網目模様のマスクメロンだったら…と考えると、ちよっとブキミですね。きつとおしりには見えなかったでしょう。アリスメロンだからこそ「おしりメロン」なのです。「おしりメロン」のおしりから、いい匂いがしてきたら食べ頃だそう。メロン部会のみなさん、ありがとう。佐木島のめぐみに感謝！！

(みはらっせ編集室・お好み焼男)